

2 S.H. 著: 『イスラ-4の哲学』 黒田 誠  
著者, 昭和50年.

P. 172

宇宙は瞬間=“と”に消滅し, “と”の瞬間に, “と”に

創造され, “と”の位相の間は時間, 分離がある。

それは収縮の位相において各瞬間=“と”に神の本質

へ帰還し, 膨張の位相において, “と”に顕示され,

外化される。宇宙は“と”に神の本質の顕現であり,

それは各瞬間=“と”に更新され, “と”に同一の反

復=“と”はなる。

d. 瞬間=“と”の創造に“と”は,

T. Bunckhardt: The renewing of creation

at each instant, 955 Introduction to

Sufi doctrine, Chap. IV 或“と”

H. Conbin: L'imagination créatrice ...

9 149 頁. 参照。

創造は各瞬間=“と”に更新され, “と”の表面上の水平的

連続性は, “と”に各瞬間=“と”に“と”の超越的起源へ

統合する垂直的原因に“と”はなされる。

国会図書館  
に行くべきである。

□

無から割り出す。天地を分ける無は3/3 戻す9E...2

と表現は、論文[2]の返還説である。

論文[2]では、一定の表現が人間にEかかっている以上、

一部だけ人間が持つ人間としての存在を表現する

不都合があるとして、この返還説を主張している。

Bangladeshの人間は論文[1]に述べられているように人間である

という主張があり、返還説が正しく表現の可能性を

失った。と述べているのは返還説を主張している。

~~この井筒は手紙 P.67 の2/4の5に書かれています。~~  
~~世界は無路な3/3の5に1回だけ1/3の5に書かれています。~~